

\*\*\*\*\*

## 2017年度(第95期)事業報告書

\*\*\*\*\*

技術と社会部門：

部門長 神谷和秀 運営委員 4 6 名，総務委員 1 6 名  
運営委員会開催 2 回，総務委員会開催 3 回

- 1) 部門運営委員会およびそのもとに設置された総務委員会，広報委員会，表彰委員会，機械遺産委員会，ロードマップ委員会，ホームページ管理運営委員会，国際会議実行委員会，イブニングセミナー企画委員会，イブニングセミナー実行委員会，工学・技術教育委員会  
で部門運営にあたった。
- 2) 2017 年度年次大会（9 月 3 日～6 日，埼玉大学）において，OS3 件，WS 2 件，パネメルデ  
イスカッション 1 件を企画・開催した。また，各実行組織の報告事項として後述するが，  
機械遺産委員会による機械遺産のパネル展示と市民対象行事 1 件を企画・開催した。
- 3) 広報委員会は，部門ニュースレター（NL）No.36 を部門ホームページ上で発行した。No.37  
を 2017 年度中に発行する予定である。また，NL の検索エンジンヒット率向上対策につい  
て検討に着手した。
- 4) 機械遺産委員会は，2017 年度認定機械遺産候補を選定し，7 件が認定された。
- 5) 機械遺産委員会は，2017 年度機械の日における機械遺産認定式典（8 月 7 日，東京大学  
福武ホール）に出席し，認定機械遺産 7 件を解説・報告し，開催に協力した。
- 6) 機械遺産委員会は，2017 年度年次大会において，市民公開行事として，実行委員会とと  
もに日本機械学会認定「機械遺産」のポスター展示を行い，新規認定分 7 件をパネル(印刷  
物)にて，既認定分 83 件を PC によるスクリーン(LCD)展示にて紹介した。
- 7) 表彰委員会は，12 月 2 日開催の 2017 年度部門講演会（南埼玉郡）後の部門懇親会におい  
て，緒方正則氏（元関西大学，長期海外出張中）に部門賞の功績賞を贈賞する旨報告した。
- 8) 表彰委員会は，運営委員会の審議結果に基づき，佐々木直栄氏（日本大学）を 2017 年度  
組織推薦によるフェロー候補として応募し，理事会において承認された。
- 9) 表彰委員会は，2017 年度部門賞（功績賞，業績賞）と部門一般表彰（優秀講演論文表彰）  
の候補について 1 月 5 日に応募受付を締切り，審議中である。
- 10) イブニングセミナー企画委員会／イブニングセミナー実行委員会はイブニングセミナー企画  
委員会のメンバーが中心に講演講師を選出し決定した。イブニングセミナー実行委員会のメンバ  
ーが中心にイブニングセミナー 11 回を明治大学 駿河台キャンパスにて開催した。
- 11) 技術倫理委員会では，セミナー企画および実施のため，4 回の打ち合わせを行った。
- 12) 技術倫理委員会では，セミナー 2 件を実施した。それぞれ 21 名と 11 名の参加者があった。

13) 工学・技術教育委員会は、2017年度年次大会（埼玉大学）において、エンジンシステム部門と共同で、9月3日に市民対象行事として「温めて動く機械スターリングエンジン」を実施した。講演者4名を除き名簿上は35人の参加者がいた。2017年度に発行予定のニュースレターで報告する予定であり、また日本機械学会誌2018年2月号の「おもしろイベント報告」にも関連の原稿が掲載される予定である。

14) 工学・技術教育委員会は、大分大学との共催で、大分県大分市に所在するコンパルホール4階視聴覚室を会場に、10月15日に第7回低温度差スターリングエンジン競技会・発表会を開催した。7団体から11作品の出品があり、16人が出席した。本行事については2017年度に発行予定のニュースレターにて報告する予定である。

15) 工学・技術教育委員会は、2018年度年次大会の学術講演のセッションにおいて、従来のOS技術教育・工学教育のセッションに代わり、機械材料・材料加工部門と合同でジョイントセッション「伝統産業工学および工学/技術教育（注：英文セッション名は **Applied conventional technology and education about engineering or technology**）」を当該実行委員会に提案した。

16) 工学・技術教育委員会は、新☆エネルギーコンテストの実行委員会に相当する組織として、環境・エネルギー教育委員会の設置を検討し、運営委員会を経て提案の了承を受けた。

17) 工学・技術教育委員会が学術講演のセッション運営や企画に携わったセッションとして、2017年度年次大会（9月3日（日）～6日（水）、埼玉大学）のOS（S202 工学・技術・環境教育と、2017年度部門講演会 No.17-52 講演会 技術と社会の関連を巡って：過去から未来を訪ねる（12月2日（土）、日本工業大学）の技術教育・工学技術教育がある。

18) HP管理運営委員会は、部門の情報を逐次更新・掲載し、リンク切れなどのページの修正など、HPの充実を図った。

19) 持続可能なエネルギー利用に関する工学教育研究会は、日本大学工学部との共催で、第10回新☆エネルギーコンテストを開催した。併せて、ホームページの立ち上げ（部門ホームページからリンク）、イベントへの協賛企業（賞品提供および審査協力）確保、概要集の出版を行った。また、同日および同場所にて、日本機械学会2017年度東北支部特別講演会を併催した。詳細は2018年1月発行予定のニュースレターにて報告予定である。

20) 国際会議実行委員会は、2018年度に向けて国際会議名称および開催日程の検討を行った。また開催に向けて実行委員を決定した。

以上